

Portable Executable Checker

ユーザガイド

目次

第 1 章 Portable Executable Checker について	4
1.1 注意事項	4
1.1.1 ソフトウェアの権利について.....	4
1.1.2 免責事項について	4
1.1.3 サポートについて.....	5
1.2 動作環境.....	5
1.3 開発環境	5
第 2 章 基礎知識	6
2.1 画面説明.....	6
2.1.1 各部名称	6
2.1.2 各部説明	7
2.2 対応ファイル形式.....	7
2.2.1 Portable Executable ファイルとは？	7
第 3 章 使い方	8
3.1 メニューバー.....	8
3.1.1 ファイル	8
3.1.2 表示	8
3.1.3 ヘルプ	8
3.2 ツールバー	9
3.3 リストビュー.....	9
3.3.1 カラム	9
3.3.2 リストビューコンテキストメニュー	10
3.3.3 カラムコンテキストメニュー	11
3.4 ステータスバー	11
3.4.1 ステータス情報.....	12
第 4 章 コマンドプロンプト	13
4.1 基本構文	13
4.2 構文一覧.....	13
第 5 章 その他.....	14
5.1 変更履歴	14
5.2 謝辞	15
5.2.1 アイコン	15

5.2.2	ロゴ.....	15
5.2.3	ソフトウェア	15

第1章

Portable Executable Checker について

Portable Executable Checker をご利用いただきありがとうございます。

Portable Executable Checker は、32 ビット及び 64 ビット版の Microsoft Windows 上で使用される実行ファイルのファイルフォーマットの形式を調べるためのツールです。

1.1 注意事項

Portable Executable Checker をご利用いただくにあたっての注意事項です。

1.1.1 ソフトウェアの権利について

1. 「本ソフトウェア」とは、「Portable Executable Checker」として配布された書庫ファイルに含まれるプログラムファイル・ドキュメント・サンプルデータなどのファイル一切を指すものとします。
2. 本ソフトウェアのうち、第三者からライセンスを取得して組み込まれている機能以外のすべての部分の著作権は、作者の Takuya Takeuchi が所持します。
3. 本ソフトウェアの一部または全部を作者に無断でリバースエンジニアリング、改変してはなりません。
4. 著作権法で認められる「引用」の度合いを超えた、本ソフトウェア及び周辺書類の無断転載を禁止します。
5. 不特定多数を対象とした本ソフトウェアの再配布・転載をご希望の場合には、電子メールにてお問い合わせください(メールアドレスは次項目参照)。

1.1.2 免責事項について

1. 本ソフトウェアを使用することによって何らかの不具合や係争・紛争等が発生した場合、作者及び関係者は一切その責を負わないものとします。各自の責任においてご利用下さい。
2. 作者は、ソフトウェアに不具合が存在した場合、それをなるべく修正するようにします。また、その修正結果は、ウェブサイト等のネットワークを用いて公開します。
ただし、全ての不具合を必ず修正すること、及びソフトウェアの修正を迅速に行うということについては、これを保証しておりません。
3. 本ソフトウェアを、誤動作によって人命等に重大な影響を与えるような重要システム(ミッション・クリティカル・システム)上で運用しないでください。

1.1.3 サポートについて

ソフトウェアのサポートは電子メールをご利用ください。

宛先: hermesfactory@gmail.com

1.2 動作環境

Portable Executable Checker の動作環境についての説明です。

オペレーティングシステム	Windows XP Professional Edition SP3 (32 ビット版)
.NET Framework	.NET Framework 2.0 SP1

上記環境でのみ、テストを行っておりますが、.NET Framework 2.0 SP1 がインストールされている環境であれば、動作可能と思われます。

1.3 開発環境

Portable Executable Checker の開発環境についての説明です。

オペレーティングシステム	Windows 7 Ultimate SP1 (64 ビット版)
開発製品	Microsoft Visual Studio 2012 Professional Update 4
CPU	Intel Core i7-2600 3.40 GHz
メモリ	DDR3 16.00 GB

第2章 基礎知識

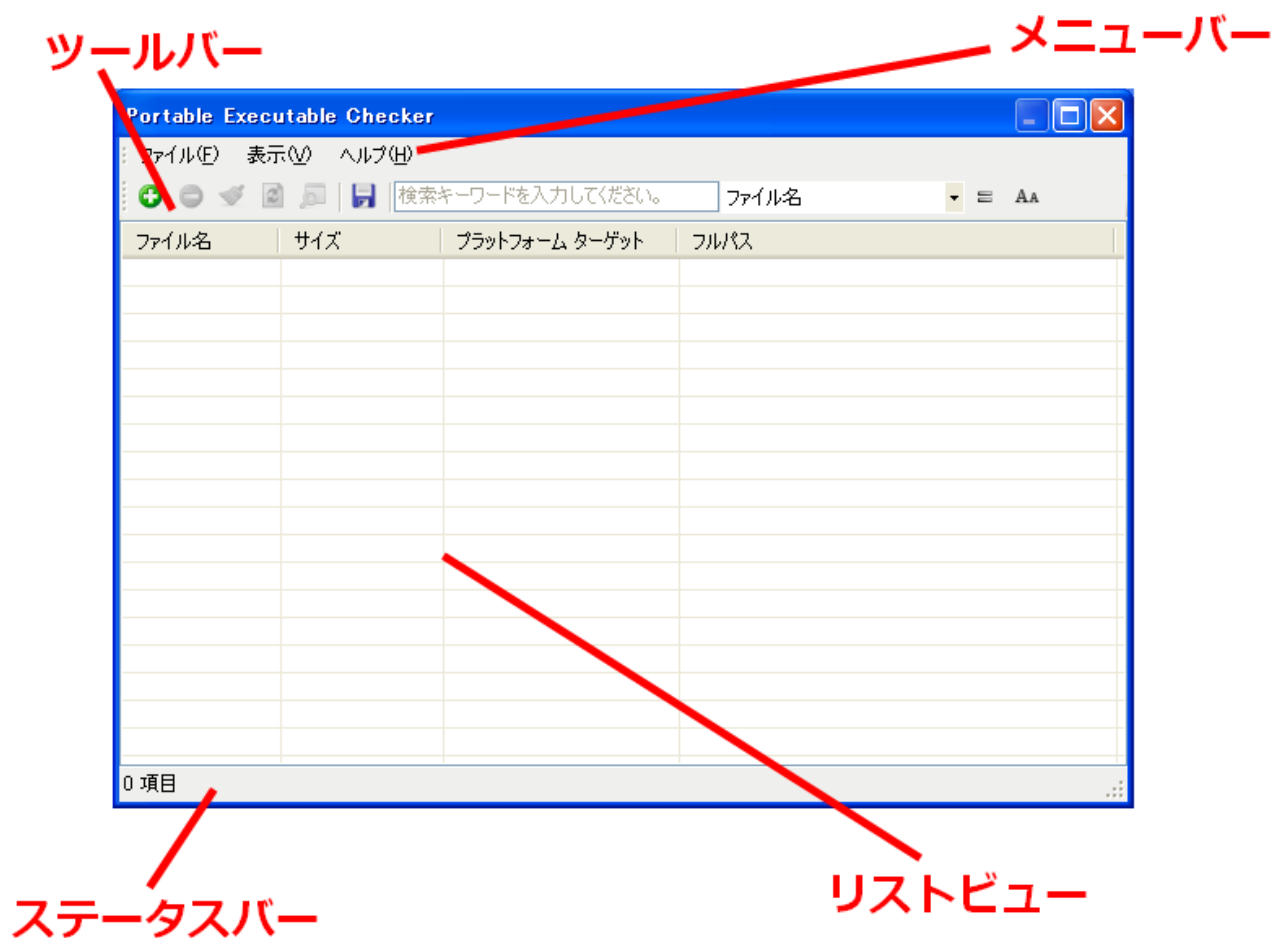
Portable Executable Checker をご利用頂くにあたって必要な基礎知識についてです。

2.1 画面説明

ウィンドウについての説明です。

2.1.1 各部名称

Portable Executable Checker のメインウィンドウは次のような部品から構成されています(サンプルは Windows XP 上での表示状態です)。



2.1.2 各部説明

メニューバー

メニューバーには、Portable Executable Checker で行える基本的な機能がメニュー項目で提供されています。

各メニューについての詳細は、「3.1 メニューバー」を参照して下さい。

ツールバー

ツールバーには、Portable Executable Checker で行える最も良く使用される機能がボタン形式で提供されています。

各ボタンについての詳細は、「3.2 ツールバー」を参照して下さい。

リストビュー

リストビューには、Portable Executable Checker によってチェックが完了した Portable Executable ファイルの一覧を表示する機能が提供されています。

リストビューについての詳細は、「3.3 リストビュー」を参照して下さい。

ステータスバー

ステータスバーには、Portable Executable Checker での操作を補佐する情報を表示する機能が提供されています。

ステータスバーについての詳細は、「3.4 ステータスバー」を参照して下さい。

2.2 対応ファイル形式

Portable Executable Checker が対応しているファイル形式についての説明です。

ファイル種別	説明
.cpl ファイル	コントロール パネル ファイル
.dll ファイル	ダイナミック リンク ライブラリ ファイル
.drv ファイル	デバイス ドライバー ファイル
.exe ファイル	実行ファイル
.ocx ファイル	ActiveX コントロール ファイル
.obj ファイル	オブジェクト ファイル
.scr ファイル	スクリーンセーバー ファイル
.sys ファイル	システム ファイル

2.2.1 Portable Executable ファイルとは？

Portable Executable ファイルは、32 ビット及び 64 ビット版の Microsoft Windows 上で使用される実行ファイルのファイルフォーマットです。

EXE フォーマットとの互換性を維持するために、MS-DOS 上で実行すると DOS 上では実行できない旨である「This Program Cannot Be Run in DOS Mode.」というメッセージが表示される。

第3章 使い方

Portable Executable Checker をご利用頂くにあたって必要な基礎知識についてです。

3.1 メニューバー

メニューバーの各項目についての説明です。

3.1.1 ファイル

名前を付けて保存

リストビューに表示されている項目を、指定した名前を付けて CSV (Comma Separated Values) ファイルに保存します。

終了

Portable Executable Checker を終了します。

3.1.2 表示

ログウィンドウを表示

リストビューにファイルを追加した場合に、ファイルの解析成功、失敗等の詳細情報を表示するかどうかを決定します。

グリッドラインの表示

リストビューにグリッド線を表示するかどうかを決定します。

インクリメンタル サーチのキー間隔

リストビューにフォーカスがあるときに、キー入力で検索機能が働き、入力した文字列に一致する行が選択されます。そのキー入力の際に、同一の検索であるとアプリケーションが判断する時間をミリ秒単位で指定します。

3.1.3 ヘルプ

ヘルプ

本ファイルを規定のアプリケーションで開きます。

Portable Executable Checker について...

Portable Executable Checker についての情報を提供するアバウト画面を表示します。

3.2 ツールバー

ツールバーの各項目についての説明です。



番号	名称	説明
1	追加ボタン	「ファイルを開く」ダイアログから、解析を行うファイルを選択し、リストビューに追加します。
2	削除ボタン	リストビューで現在選択しているファイルをリストビューから削除します。
3	全削除ボタン	リストビューから全てのファイルを削除します。
4	全更新ボタン	リストビューに表示されている全てのファイルに対して再度解析を実行します。
5	解析ボタン	リストビューで現在選択しているファイルを解析します。
6	名前を付けて保存ボタン	リストビューに表示されている項目を、指定した名前を付けて CSV (Comma Separated Values) ファイルに保存します。
7	検索キーワード入力ボックス	リストビューに表示されているファイルの検索を行うキーワードを入力します。入力の度に、検索がリアルタイムに行われます。検索の対象となるカラムは「検索対象カラム選択コンボボックス」から選択します。
8	検索対象カラム選択コンボボックス	検索の対象となるカラムを選択します。選択項目を変更する度に、検索がリアルタイムに行われます。
9	完全一致ボタン	検索を行う際、一致する条件を部分一致ではなく完全一致にするかどうかを決定します。
10	大文字小文字区別解除ボタン	検索を行う際、大文字小文字を区別しないようにするかどうかを決定します。

3.3 リストビュー

リストビューについての説明です。

3.3.1 カラム

ファイル名

解析を行った Portable Executable ファイルのファイル名。

サイズ

解析を行った Portable Executable ファイルのファイルサイズ (バイト単位)。

コード種別

解析を行った Portable Executable ファイルのコード種別。

種別	説明
アンマネージ コード	.NET Framework における共通言語基盤(CLI)に準拠していないコードであることを示します。 .NET Framework 登場までのコードがこれに該当し、ネイティブ コードとも呼ばれます。
マネージ コード	.NET Framework における共通言語基盤(CLI)に準拠した仮想機械上で実行されるコードであることを示します。

プラットフォーム ターゲット

解析を行った Portable Executable ファイルの実行ターゲット。

種別	説明
x86	32 ビットの x86 互換共通言語ランタイムがターゲットであることを示します。
x64	AMD64 または EM64T 命令セットをサポートするコンピュータ上の 64 ビット共通言語ランタイムがターゲットであることを示します。
Itanium	Itanium プロセッサ搭載コンピュータ上の 64 ビット共通言語ランタイムがターゲットであることを示します。
Any	任意のプラットフォームがターゲットであることを示します。
Unknown	不明であることを示します。
判定 不能	判定できなかったことを示します。

フルパス

解析を行った Portable Executable ファイルのフルパス。

デバッグ情報

解析を行った Portable Executable ファイルにデバッグ情報が含まれているかどうか。既定では非表示です。

4GB RAM チューニング

解析を行った Portable Executable ファイルが 4GB RAM チューニング機能に対応しているかどうか。4GB RAM チューニングとは、32 ビット Windows NT 系にて仮想アドレス空間のユーザ空間とカーネル空間の割り振り量を変更するための機能です。既定では非表示です。

3.3.2 リストビューコンテキストメニュー

リストビューを右クリックして表示されるコンテキストメニューについての説明です。

追加

「ファイルを開く」ダイアログから、解析を行うファイルを選択し、リストビューに追加します。

削除

リストビューで現在選択しているファイルをリストビューから削除します。

解析

リストビューで現在選択しているファイルを解析します。

3.3.3 カラムコンテキストメニュー

リストビュー上部のカラムを右クリックして表示されるコンテキストメニューについての説明です。

ファイル名

リストビューの「ファイル名」列の表示・非表示を切り替えます。

ただし、「ファイル名」列は常に表示させるため変更できません。

サイズ

リストビューの「サイズ」列の表示・非表示を切り替えます。

コード種別

リストビューの「コード種別」列の表示・非表示を切り替えます。

プラットフォーム ターゲット

リストビューの「プラットフォーム ターゲット」列の表示・非表示を切り替えます。

フルパス

リストビューの「フルパス」列の表示・非表示を切り替えます。

デバッグ情報

リストビューの「デバッグ情報」列の表示・非表示を切り替えます。

4GB RAM チューニング

リストビューの「4GB RAM チューニング」列の表示・非表示を切り替えます。

3.4 ステータスバー

ステータスバーについての説明です。

3.4.1 ステータス情報

ファイル数

現在レビューに表示されているファイルの個数を表示します。

第4章

コマンドプロンプト

Portable Executable Checker をコマンドプロンプトからご利用頂くにあたって必要な基礎知識についてです。

4.1 基本構文

基本的な構文についての説明です。

Portable Executable Checker をコマンドプロンプトから利用するには、Windows 付属のコマンドプロンプトより、下記の構文に従って入力を行います。

Pec.Console.exe [メソッド] [スイッチ]

メソッド、スイッチについては「4.2 構文一覧」で説明します。

4.2 構文一覧

基本的な構文についての説明です。

なお、スイッチの直前の-(ハイフン)は、/(スラッシュ)に置き換えても利用可能です。

下記はコマンドラインで利用可能なメソッド、メソッドの説明、そのメソッドで使用可能なスイッチの一覧を示します。

メソッド(省略形)	説明	利用可能なスイッチ(省略形)
analyze(a)	アセンブリ ファイルを解析し、コード種別、プラットフォーム ターゲット、デバッグ情報の有無、4GB RAM チューニングについての情報をコンソールに表示します。	-file:(-f:)
help	ヘルプをコンソールに表示します。	-

下記はメソッドで使用可能なスイッチについての説明と構文例です。

メソッド(省略形)	スイッチ(省略形)	説明と構文例
analyze(a)	-file:(-f:)	<p>解析するアセンブリ ファイルをパスで指定します。パスに空白文字が含まれる場合は、パス全体を”(ダブルクォーテーション)で囲ってください。</p> <p>Pec.Console.exe analyze -file:" C:\Program Files\Windows Media Player\wmplayer.exe"</p>

第5章 その他

5.1 変更履歴

Portable Executable Checker の変更履歴です。

Ver.1.0.0.5	バグ修正 ・細かい動作を変更 その他 ・アセンブリに厳密名を付与 ・開発環境を変更
Ver.1.0.0.4	機能追加 ・コンソールからの起動に対応 バグ修正 ・ヘルプファイルの誤字・脱字・体裁を修正
Ver.1.0.0.3	機能追加 ・コード種別、デバッグ情報の有無、4GB RAM チューニングの判定を追加 ・表示するリストビューカラムを選択できる機能を追加 バグ修正 ・細かい動作を修正 ・ヘルプファイルの体裁を修正 その他 ・開発環境を変更
Ver.1.0.0.2	バグ修正 ・プラットフォーム ターゲットのソート結果がファイル名でのソートになっている問題を修正 ・最小化ボタンが無効になっていた問題を修正 ・ヘルプファイルの誤字・脱字・体裁を修正 ・その他細かい動作を修正
Ver.1.0.0.1	バグ修正 ・コンテキストメニューにアイコンが表示されていない問題を修正 ・アイテムが 0 個の時に右クリックしてもダイアログが表示されない問題を修正 ・タイトルバーにアイコンが表示されない問題を修正

	<ul style="list-style-type: none"> ・タスクバーにフォームが表示されない問題を修正 ・ログ追加時のメッセージに余計なスペースがついている問題を修正 ・PE ファイル追加時の「ファイルを開く」ダイアログの表示を修正 ・ツールバーがハンドル可能の表示であるにもかかわらず移動できない問題を修正
Ver. 1.0.0.0	初版リリース

5.2 謝辞

Portable Executable Checker を開発するにあたって、多くの方にご協力いただきました。

5.2.1 アイコン

Portable Executable Checker のツールバーで使用されているアイコンは **Yusuke Kamiyamane 様** が作成されたアイコン **Fugue Icons**、**Diagona Icons** を使用させていただきました。

<http://www.p.yusukekamiyamane.com>

5.2.2 ロゴ

Portable Executable Checker のアバウト画面で使用されている画像は **TopeconHeroes 様** が作成されたカモメのシルエットデータを使用させていただきました。

<http://kage-design.com>

5.2.3 ソフトウェア

Portable Executable Checker のコンソール機能で、コマンドプロンプトからの引数解析に **Adrian Aisemberg 様** が作成された **CLAP** を使用させていただきました。

<http://www.sharpreregion.com/>

CLAP

MIT License

Copyright (c) 2011 Adrian Aisemberg, SharpRegion

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of

the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.